

関西道路研究会 道路橋調査研究委員会
橋梁の健全度診断技術に関する研究小委員会
第3回 委員会議事録

日 時： 平成 25 年 5 月 13 日（水）16:00～17:30

場 所： 大阪大学テクノアライアンス棟 2F 会議室(B204)

主な議事内容

2．コンクリート橋WG 活動報告と今後の方針

コンクリート WG においては次の 4 つのテーマに関して取り纏める予定である(コンクリート性状の経時変化, グラウト充填不良・残存プレストレス測定, 鉄筋破断, あと施工樹脂アンカー)。現在は文献調査に取り組んでいる。最終成果において, 本委員会独自の特徴的な成果を出したいと考えている。

3．鋼橋WG 活動報告と今後の方針

先般実施された見学会を踏まえ, 橋梁損傷のうち「支承」に関する損傷は, 点検作業員の主観に大きく依存する上, 「健全度」点数化に大きな影響を及ぼすことが明らかとなった。そこで鋼橋 WG においては「支承」に着目し, 橋梁点検における課題について検討していくこととする。

4．新技術導入WG

新技術導入が容易ではない問題に対して, これまでの議論から得られた意見を集約し, 赤外線サーモグラフィ点検を例に挙げ, 論点をまとめた。例えば大学による公平な立場から新技術評価を行うことや, NETIS 等の新技術促進システムの活用, あるいは医療・建築・機械等の異分野での事例を参考にしながら, 解決のための方向性について今後議論していきたいと考えている。

自治体における取り組みを紹介頂くことも考えられる。他分野の学識者とともに人選し, プレゼンの機会を設けるなどを企画したい。その際, 土木分野の状況についても紹介して意見交換するのがよい。

5．次回委員会の開催予定など

今後の全体スケジュールについて

- ・平成 26 年 11 月末を目途に最終報告書の取り纏め
- ・平成 27 年 1～2 月頃に報告会を実施

次回は下記日時に開催する。

平成 25 年 9 月 13 日（金）14 時～17 時 30 分

以 上